

# なか議会だより

2026  
4.28  
Vol.89



## TOPICS

- 議会構成紹介
- 令和8年度予算
- こんなことが決まりました
- 議案などの審議結果
- 一般質問
- 議会活動レポート

# Re.Start



那珂市議会広報委員会

## —那珂市議会構成変更—

# 新たな体制で リスタート！



### 総務生活常任委員会



### 教育厚生常任委員会



### 議会運営委員会

私たち那珂市議会は、市政をチェックする機関としての役割を担うとともに、市民の皆様の福祉向上や教育の充実、笑顔あふれるまちづくりの実現を目指しています。そのために、少数の意見にも耳を傾けながら丁寧な議論を重ね、多様性のある議会をオール市議会で築いてまいります。さらに議会改革を推し進め、市民の皆様の信頼に応えられる議会を目指してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



大和田 和男 笹島 猛 萩谷 俊行

福田 耕四郎



副委員長  
榊原 一和

委員長  
寺門 勲

### 産業建設常任委員会

榊原 一和

寺門 勲

寺門 厚 木野 広宣



副委員長  
花島 進

委員長  
渡邊 勝巳

### 原子力安全対策常任委員会

榊原 一和

小池 正夫 遠藤 実 渡邊 勝巳



副委員長  
鈴木 明子

委員長  
桑澤 直亨

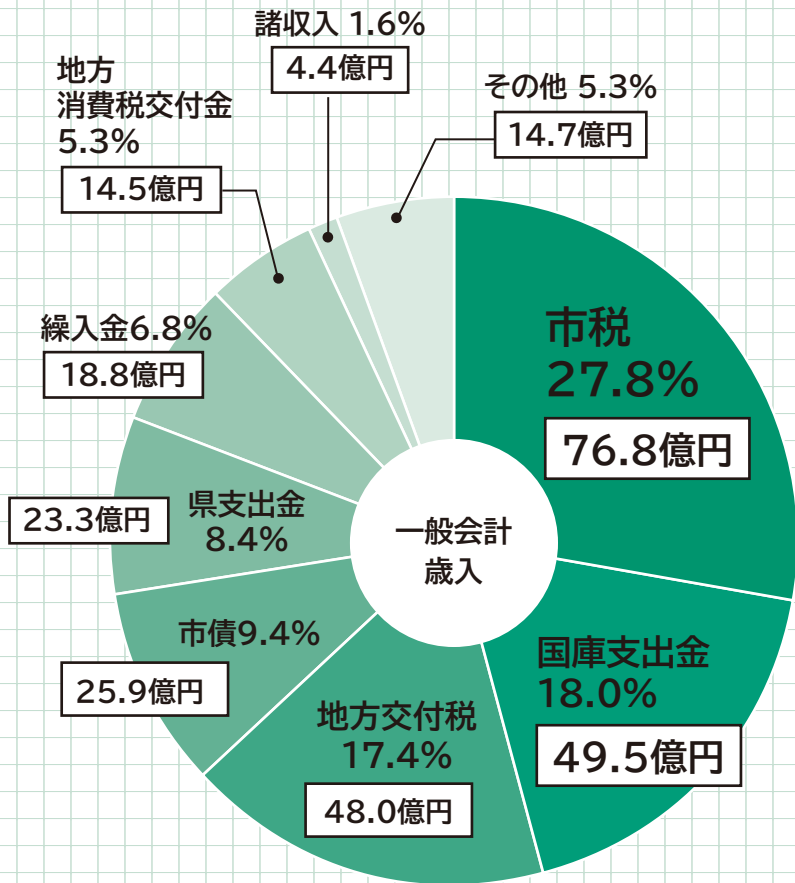
### 議会広報委員会



副議長  
小池 正夫

このたび、議員各位のご推挙を賜り、副議長の要職を拝命いたしました。議会の円滑な運営と公正な議事進行を支える副議長の責任の重さを深く認識し、議長を補佐しながら、市議会のさらなる充実と発展のため誠心誠意努めてまいります。また、市民の皆様からの信託を受けた議会として、多様なご意見に真摯に耳を傾け、活発で建設的な議論を通じて、本市の発展と市民福祉の向上に寄与できる議会となるよう尽力してまいります。

# みんなのお金の使い道



令和8年第1回定例会では、市長から令和8年度の予算案が提出されました。

歳入では、賃金上昇や企業収益の改善により市民税の増収が見込まれています。

歳出では、扶助費や職員人件費が増加する中、交付金を活用して物価高の影響を受けている市民への支援を継続するとともに、道路整備や公共施設の長寿命化対策、複合型交流拠点施設「道の駅」の整備、小中学校の特別教室への空調整備が予定されています。

予算は、3月11日から13日の3日間にわたり、各常任委員会での審議を経て、全て可決しました。

## 一般会計歳入歳出予算 275億9000万円

(※前年度比9.4%増)

### 用語の一部解説

#### 県支出金

県から特定の事業を行うために交付されるお金

#### 国庫支出金

国から特定の事業を行うために交付されるお金

#### 市債

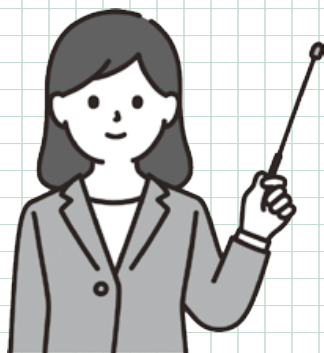
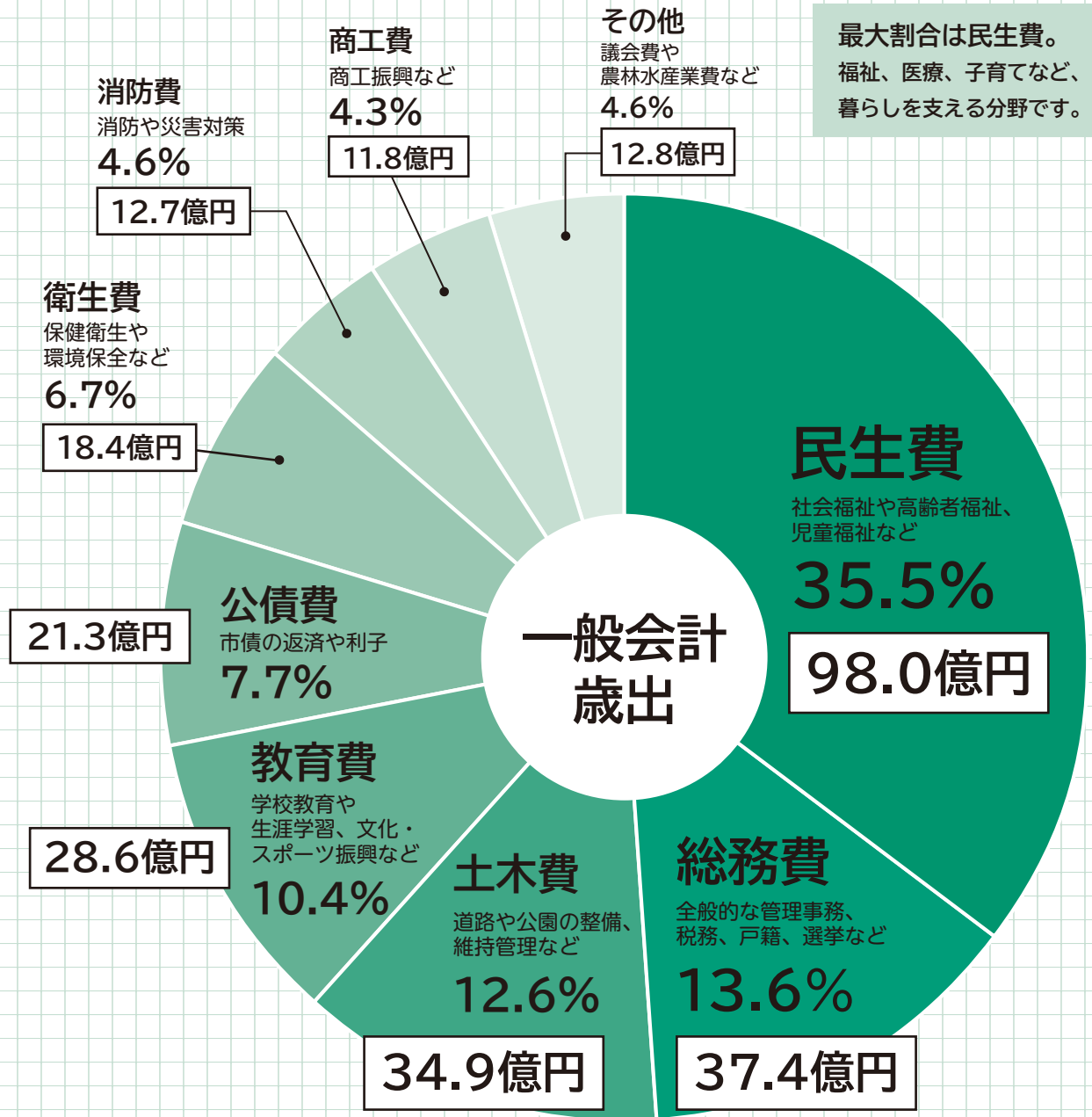
公共事業などのために国や金融機関から借りるお金

#### 地方交付税

地域による財政の差をなくすため国が配るお金



# どうなる？令和8年度



CHECK!

議会はこちらを確認しました

限られた財源を最大限生かすため、事業の必要性や効果について慎重に審査しています。

# 令和8年第1回臨時会・第1回定例会 こんなことが決まりました

令和8年第1回臨時会は1月27日(火)の1日間、  
第1回定例会は、3月2日(月)から23日(月)までの22日間行いました。

## 第1回臨時会

市長提出案件 2件  
請願・陳情 0件  
議員提出案件 0件

## 第1回定例会

市長提出案件 30件  
請願・陳情 0件  
議員提出案件 0件



令和8年定例会・臨時会HP

## 議案等の審議結果

### 令和8年第1回臨時会

議案等番号	議案等名	結果	議案等番号	議案等名	結果
議案1	専決処分について(令和7年度那珂市一般会計補正予算(第7号))	承認	議案2	令和7年度那珂市一般会計補正予算(第8号)	可決

### 令和8年第1回定例会

議案等番号	議案等名	結果	議案等番号	議案等名	結果
報告1	専決処分について(損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定)	-	議案15	令和7年度那珂市一般会計補正予算(第9号)	可決
議案3	那珂市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案16	令和7年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)	可決
議案4	那珂市職員定数条例の一部を改正する条例	可決	議案17	令和8年度那珂市一般会計予算	可決
議案5	那珂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案18	令和8年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	可決
議案6	那珂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案19	令和8年度那珂市公園墓地事業特別会計予算	可決
議案7	那珂市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案20	令和8年度那珂市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	可決
議案8	那珂市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	議案21	令和8年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案9	那珂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	議案22	令和8年度那珂市水道事業会計予算	可決
議案10	那珂市都市公園条例の一部を改正する条例	可決	議案23	令和8年度那珂市下水道事業会計予算	可決
議案11	那珂市消防職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案24	市道路線の認定について	可決
議案12	那珂市火災予防条例の一部を改正する条例	可決	議案25	市道路線の廃止について	可決
議案13	那珂市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決	議案26	那珂市副市長の選任について	同意
議案14	那珂市空家等対策の推進に関する条例	可決	議案27	那珂市教育委員会教育長の任命について	同意
			議案28	那珂市教育委員会委員の任命について	同意
			議案29	那珂市監査委員の選任について	同意
			議案30	那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
			議案31	人権擁護委員の推薦について	同意

賛否が分かれた議案等 ※議長（大和田和男議員）は採決にわりません ○…賛成 ×…反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	結果
	榊原一和	桑澤直亨	原田悠嗣	大和田和男	鈴木明子	渡邊勝巳	寺門勲	小池正夫	小宅清史	富山豪	花島進	寺門厚	木野広宣	萩谷俊行	笹島猛	君嶋寿男	遠藤実	福田耕四郎	
議案第9号 那珂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号 令和8年度那珂市一般会計予算	○	○	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	可決
議案第18号 令和8年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議案第17号は、ふるさと寄付金「ふるさとの便り」事業及び複合型交流拠点施設「道の駅」整備事業について討論がありました。

### 議案第9号

### 那珂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

## 国民健康保険税が改正されます

### ～将来に向けた安定運営のために～

医療費の増加などにより国民健康保険財政は厳しい状況が続いており、不足分は基金の取り崩しで対応してきました。基金残高の減少を踏まえ、令和8年度から保険税率を見直し、制度の安定運営を図るとともに、子ども・子育て支援金制度が導入されることに伴う改正を行います。

### 改正に伴う影響（ケース別）

#### 被保険者数1人のケース

- ① 70歳（介護分なし）総所得※0円 7割軽減適用  
※総所得とは、収入から必要経費や控除を引いた金額です。

	令和7年度	令和8年度	うち子ども分	比較
国保税額	13,600円	16,900円	500円	+3,300円

- ② 50歳（介護分あり）総所得0円 7割軽減適用

	令和7年度	令和8年度	うち子ども分	比較
国保税額	18,400円	22,300円	500円	+3,900円

#### 被保険者数2人のケース

- ① 親65歳（介護分なし）子40歳（介護分あり）総所得0円 7割軽減適用

	令和7年度	令和8年度	うち子ども分	比較
国保税額	32,200円	39,300円	1,000円	+7,100円

- ② 夫70歳（介護分なし）妻65歳（介護分なし）総所得150万円 2割軽減適用

	令和7年度	令和8年度	うち子ども分	比較
国保税額	169,500円	197,500円	6,000円	+28,000円

### 子ども・子育て支援金制度とは

子ども・子育て支援金は、社会全体で子育てを支える仕組みです。独身者や高齢者も、将来の社会保障を支える次世代を育てるという考えから負担し、児童手当の拡充などに活用されます。

## 消防職員に支給する特殊勤務手当を見直します

近年、大規模災害における緊急消防援助隊の派遣や救急需要の増加による重症事案への対応など消防業務は従来の危険業務に加え、より高度な専門性、即応性が求められるなど業務負担が一層増大しています。

こうした状況を踏まえ、消防職員に支給する特殊勤務手当について、現場の実態や業務負担に対応した支給体系へと見直すため、条例の一部を改正するものです。



### 質疑応答

Q どのくらいの頻度で出動されるのですか。

A 令和7年は、2,746件出動し、救急支援業務は救急出動の20%の出動で500件を超えています。潜水業務については、過去3年間で水難事故として出動した件数が那珂市管内で8件ほどあります。緊急消防援助隊としては、昨年、大船渡市の林野火災で、那珂市からも茨城県隊として20名が出動しています。

## 空き家の管理に加え、予防・活用も含めた対策へ

国の法改正にあわせ、これまでの「那珂市空き家等の適正管理に関する条例」を全部改正し、新たに「那珂市空家等対策の推進に関する条例」を制定しました。

今回の見直しでは、法律と重複する規定を整理するとともに、空き家の適切な管理に加え、発生の予防や活用促進を含めて、市全体で対策を進める考え方を明確にしました。

また、市の責務のほか、所有者、市民等の役割を定め、重大な危険が生じるおそれがある場合には、必要最小限の緊急安全措置を講じることができるとされています。

### 質疑応答

Q 危険な空き家への対応はどうなりますか。

A 危険な空き家については、以前から法律に基づき必要な対応を行うことができますが、現時点では代執行の対象となる空き家はありません。



## 道の駅整備へ 造成工事と開業を見据えた準備を進めます

○複合型交流拠点施設「道の駅」整備事業  
4億8,340万3,000円  
(うち事業用地造成工事 4億366万7,000円)  
令和7年度に策定した実施設計に基づき、  
令和8年度は道の駅整備に向け、事業用地  
の造成工事を実施します。

あわせて、各種準備委員会での協議を進めるほか、飲食コンテンツの開発や出荷・販売体制の構築支援など、開業に向けた準備を進めます。

委託料には、屋外トイレ実施設計や経営アドバイザー、ワークショップ運営、植栽等の準備費用などが含まれています。

### 質疑応答

Q 造成工事費が基本設計時より増えたのはなぜですか。

A 今回の実施設計では、数量の精査に加え、物価高騰なども見込んで算定した結果です。



## 市内小中学校の特別教室にエアコンが設置されます

○小学校施設整備事業  
・空調設備改修工事 9,937万4,000円

○中学校施設整備事業  
・空調設備改修工事 7,750万6,000円  
・プール解体工事 6,953万1,000円

夏の暑さ対策のため、現在未設置となっている特別教室に空調設備を整備する校舎改修工事を実施します。

また、現在使用していない第二中学校および第三中学校のプールについては、民間等のプールを利用している状況を踏まえ、解体工事を行います。

### 令和8年度対象校

- ・ばら野学園  
(菅谷西小、五台小、第一中)
- ・白鳥学園  
(瓜連小、瓜連中)

〈令和9年度対象校〉

- ・わかすぎ学園 (菅谷小、菅谷東小、第四中)
- ・緑桜学園 (芳野小、木崎小、第三中)

〈令和10年度対象校〉

- ・青遙学園 (横堀小、額田小、第二中)

# 一 般 質 問



## 《質問者 10名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しており、内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

### P 11 榊原 一和 議員

- ◇支援を要する子どもたち～インクルーシブ保育・教育を潜考する

### P 11 原田 悠嗣 議員

- ◇人口減少対策について
- ◇道の駅について
- ◇瓜連庁舎について
- ◇共同親権について

### P 12 桑澤 直亨 議員

- ◇公共施設マネジメントの計画的な推進について

### P 12 渡邊 勝巳 議員

- ◇那珂市職員について

### P 13 花島 進 議員

- ◇学校給食無償化について
- ◇道の駅関連道路整備について
- ◇上下水道の整備について
- ◇学校体育館の空調について
- ◇国民健康保険税について
- ◇ゴミ収集の変更について
- ◇指定管理者制度の契約について
- ◇中部電力の基準地震動データ不正について

### P 13 鈴木 明子 議員

- ◇子どもの命と権利を守る性教育と健康支援について
- ◇教職員へのカスハラについて

### P 14 寺門 勲 議員

- ◇マンホールトイレについて
- ◇新一年生プレクラス導入について
- ◇小中学生の視力低下について
- ◇児童・生徒の紫外線対策について
- ◇小中学校の落雷事故防止対策について

### P 14 富山 豪 議員

- ◇火災予防と林野火災への対応について

### P 15 遠藤 実 議員

- ◇道の駅について
- ◇子育て世帯への支援策について

### P 15 木野 広宣 議員

- ◇那珂市の廃棄家電について
- ◇那珂市における母子健康手帳デジタル化について

各質問者の下にあるQRコードを読み込むと一般質問の様子を見ることができます。

榊原 一和 議員

### 発達特性のある子どもが 自分らしく生きる支援は

切れ目のない支援を行っていく



Q 発達特性のある子どもが自分らしく生きるために市としてどの段階に重点を置いて支援していますか。

A 保健福祉部長 個別の支援には早期発見、療育が肝要と考えています。令和6年4月に母子保健と児童福祉の相談を一体化した子ども家庭センターを設置しました。どの段階においても必要な支援を行い、連携強化、情報の共有を図りながら、切れ目のない支援を行っていきます。

Q 保護者が将来に不安を抱えないために、どのような「長期的な見通し」を提示できますか。

A 保健福祉部長 年齢に応じて就学や福祉サービス、就労に関する情報等を、子どもや保護者が不安に陥

らず、適切な支援が受けられるように、適宜情報提供していきます。

Q 本人の意思決定支援の位置付け、取り組みをどう進めていますか。

A 保健福祉部長 発達特性に応じた子どもの育て方の助言や、福祉サービス、就学に関する情報を提供し子どもの特性にあった環境を保護者が理解、選択できるように支援をしています。子ども家庭センターやさまざまなを中心、さまざまな機関が連携し、子育てが孤立しないよう、保護者が希望を持てるような継続した支援を続けていきます。

議員のひとこと  
福祉はあなたに寄り添う身近な支えです。

原田 悠嗣 議員

### 道の駅建設は立ち止まり 見直すべきではないか

事業を前へ進めていく



Q 基本設計、実施設計、用地買収、総工費の費用と、これら全てを合算した道の駅の事業費はいくらですか。

A 産業部長 基本設計費3850万円、実施設計費9050万円、用地買収費約1億8487万円になります。概算総工費は、合計で43億2000万円を想定しており、全体で約46億3000万円です。

Q 道の駅事業は今後の市の財政を圧迫し、その結果市民への福祉サービス等が低下する可能性があると考えます。総工費の高騰等を踏まえて、改めて費用対効果を考え、道の駅建設は一度立ち止まり、考え直すべきだと思いますが、どうですか。

A 市長 道の駅の整備については、令和2年度より計画的に事業を推進しており、今年度は実施設計を策定しました。実施設計では、資材高騰等の影響を踏まえ、基本設計時と比べ事業費は増加していますが、国庫補助等の増額調整を行い、実質的な市の負担額の抑制を図っています。道の駅は次世代の子どもたちや未来の那珂市に向けた投資であると考えています。そのためにも20年後、30年後も市民が誇りを持ち、一緒になって成長し続ける持続可能な道の駅の実現に向け事業を前へ進めていきます。

議員のひとこと  
純利益の試算を行ってくだ

桑澤 直亨 議員

## 市政運営上の公共施設マネジメント計画の位置付けは

### 健全な行政運営に必要な取り組み



**Q** 現在の公共施設をすべて同規模で更新した場合、今後40年間で約666億円が必要と試算されています。一方、計画的な見直しを進めた場合は、約200億円の財政負担を抑える可能性があります。こうした将来負担を踏まえると、計画を実効性あるものとして機能させるためには、目標設定を明確にすることが重要です。施設総量の適正化に向けた目標の開始時期と期間はどのように設定していますか。

**A** 総務部長 開始時期は平成27年度とし、令和26年度までの30年間で、延べ床面積の総量を15%削減することを目標としています。  
**Q** 目標に対する現在までの進捗状況はいかがです

か。

**A** 総務部長 毎年度末時点での施設保有量を集計していますが、第1期行動計画の最終年度となる令和6年度末時点で、公共施設保有面積の縮減率は約2.3%となっています。

**Q** このままのペースでは目標達成は容易ではありませんが、計画の進捗状況を定期的に確認・評価する仕組みはありますか。

**A** 総務部長 目標達成の実効性を高めるため、今後は毎年度進捗状況を確認し、庁内委員会等で評価・検証を行います。

議員のひとこと

将来世代に責任ある公共施設マネジメントを。

渡邊 勝巳 議員

## 技術系職員の応募者減少に対する対応は

### 選ばれるよう魅力向上に努める



**Q** 土木・建築といった技術系職員不足は、公共施設の老朽化対策や、市民の生命・財産に大きな影響を及ぼします。しかし、本市の採用に対し、技術系職員の応募者は減少していることから、その対応策を教えてください。

**A** 総務部長 社会人経験者の経験年数を考慮するほか、若手職員の民間企業との給与格差是正に努め、採用説明会において市の魅力ややりがいを理解いただくよう努めています。

**Q** 中途退職者が急増しています。この原因や対応を伺います。

**A** 総務部長 原因としては、人材流動化が進み、キャリアアップの一環として転職の選択が考えられます。

また、対応ですが、やりがいをもてる職場環境構築と、働きやすい環境づくり、さらに、悩みのある職員に対し、早期に相談できる体制の整備をしていきます。

**Q** 技術系職員不足について対応する手段を早急に検討するよう願うとともに、これらの諸問題に対する見解を伺います。

**A** 市長 技術系職員不足は本市だけの問題ではありませんが、まずは人員確保に努め、さらに、働きがいや環境改善に継続的に取り組む、「選ばれる自治体」としての魅力向上に努めます。

議員のひとこと

市民の生命と財産を守るため技術系職員の確保を願う。

花島 進 議員

## 学校給食費の無償化について

小学校の給食費は無償化します



Q 学校給食費を無償化や半額補助する自治体が増えています。給食も教育の一環と考え、教育の重要な一部とする考えが広まっているのでしょうか。那珂市も一定の給食費補助を行っています。国も地方自治体の給食費無償化を支援する政策を取るようですが。

A 教育部長 国は、給食費負担軽減交付金を創設し、県を通じて市町村へ交付することになりました。負担割合は、国が2分の1、県が2分の1で市町村の負担はありません。公立の小学校で交付される基準額は、児童1人につき5200円です。

Q 国の施策では中学生に補助がありません。小学校の補助額も現行費用に不足

しますが、どのように計画していますか。

A 教育部長 国の支援策では、中学校の給食については含まれていません。今後検討するとしています。本市は、国の支援策に基づき、令和8年度から小学校の給食費を無償化し、中学校では、現行どおり給食費を徴収する予定です。令和7年度から本市は、児童生徒1人月額1500円の補助を行っています。中学生には月額1500円の補助を継続します。小学生の国の支援額が現行に不足する600円は市が負担し、給食の質を維持します。

議員のひとこと

子育て保護者の負担軽減策を、今後も見守ります。

鈴木 明子 議員

## 市民の心と体を守るための包括的な支援を

総合的支援を推進していきます



Q 人間らしく、健康で、幸せに生きていくための権利が、「性の権利」であり、それを確かなものにしていくのが、包括的性教育です。幼児期からの包括的性教育の促進と、家庭での性教育についての働きかけを希望しますがいかがですか。

A 保健福祉部長 プライベートゾーンは見せない、触らせないなどを伝えていきます。また、今後は、家庭での性教育についても情報発信や助言をしていきます。

Q HPVワクチンの周知について教えてください。

A 保健福祉部長 市内の高校にリーフレット配布などをを行い情報提供しました。

Q 人間らしく、健康で、幸せに生きていくための権利が、「性の権利」であり、それを確かなものにしていくのが、包括的性教育です。幼児期からの包括的性教育の促進と、家庭での性教育についての働きかけを希望しますがいかがですか。

A 保健福祉部長 男性への接種助成については、国及び近隣自治体の動向を注視していきます。

Q 市民の命を守り、自らの健康と将来について主体的に考えられるよう包括的な支援が重要です。市長のお考えを教えてください。

A 市長 総合的支援ができるよう、地域社会全体で支える体制を推進します。

議員のひとこと

安心して健康維持できるよう絶え間ない支援を。

寺門 勲議員

## 学校の落雷事故防止対策に 支援装置導入の検討を 導入を検討したいと考える



Q 登下校中に落雷が発生した場合、どのような対応をしていますか。

A 教育部長 各学校では、気象情報に常に注意を払い、雷をはじめ各種の気象注意報や警報が発令された場合には、その都度対策を検討し実施しています。雷については、注意報が発令された場合には屋外活動を制限し、特に下校時間に近い場合は、降雨の情報等も踏まえ、下校時間を早めたり遅くしたりするなどの対応を取っています。

Q 落雷事故から子どもたちを守るため、人の判断に依存せず、科学的な知見に基づき避難の判断の基準となる支援装置導入の検討を提案します。

A 教育部長 雷の探知

は、現在各学校で、気象庁などが提供するリアルタイム情報サイトを利用して学校付近の発生状況を確認または予測し、屋外活動の可否を検討し対応をしています。

一方、ネット環境がない場合でも、雷の発生位置や距離を瞬時に特定し、雷鳴より早く警報を発し安全確保に役立てることができ、携帯型雷探知機などの支援装置が販売されていることから、必要に応じて導入を検討したいと考えています。

議員のひとこと

子どもたちの尊い命を守るため、最善の安全対策を。

富山 豪議員

## 住宅用火災警報器の設置促進に向けた補助金制度を 現在のところ、考えていません



Q 本市の令和7年現在の住宅用火災警報器の設置率は、79%という状況にあり、約8割の住宅に設置がされ、その普及が着実に進んできていると感じています。しかし、一方で依然として約2割の住宅が未設置である状況にあります。

住宅火災による人的被害は、特に高齢者の逃げ遅れによるものが多いとされています。それらの被害を防ぐ観点からも、100%の設置率を目指すことが重要であると考えます。そこで、未設置世帯に対する今後の普及啓発をどのように進めていくのか、あわせて、よりスピード感ある設置促進を図るため、補助金制度の導入について検討すべきと考えますが、市の考えを伺

います。

A 消防長 春と秋の火災予防運動では、職員と防火クラブ員の方々が各地区を戸別訪問し、住宅用火災警報器の設置の重要性を説明するなど普及促進に努めています。また、催しでのチラシ配布やホームページ・広報紙への掲載により市民の皆様へ周知を図っています。補助金については県内において1自治体を実施していることは承知していますが、本市においては現在のところ補助金制度の導入は考えていません。

議員のひとこと

命を守るためにも、さらなる普及促進を目指してほしい。

遠藤 実議員

## 基本設計から相当な計画変更があるのだから市民説明会を

市民説明会は現時点考えていない



Q 今度予定されている道の駅は、果たしてどのくらいの来場者かという試算ですが、計画では年間約95万人の方がレジを通過して1005円の買い物をして約9・6億円を売ることになっていきます。しかし、実際にはトイレ休憩だけの方もいると思いますが、それは考慮されていないので、これでは赤字になるのではないかと考えますが、市の見解を伺います。

A 産業部長 トイレのみ利用する方などを含めた予定来場者数の算出方法は確立されておらず、近隣の状況からこれは算出方法として妥当と考えています。

Q 概算事業費が1年前に比べて約30億円から約43億円と約1・5倍に跳

ね上がり、営業利益は約7000万円を見込んでいたのが約4000万円になってしまいました。そして子育て支援センターも併設することとなり、相当な計画変更としますので、市民説明会を行うべきではないですか。

A 市長 実施設計においては基本設計時からの大きな変更点はないと捉えていますので、市民説明会の開催は現時点においては考えていません。しかし、説明が必要な状況となった際は、説明会の開催の有無について検討していきます。

議員のひとこと

道の駅のような大規模事業は、市民の理解が必要です。

木野 広宣議員

## 廃棄小型家電回収ボックスを今後増やす予定は

市が管理する施設と調整していく



Q 電化製品の多くはリチウムイオン電池が使用されています。軽量で寿命が長いことからスマートフォンやモバイルバッテリーに活用され今や生活に欠かせないものとなっています。

使用後は正しく処分しないと火災の原因にもなります。近年リチウムイオン電池を使用した製品の増加と火災事故等の件数も急増し、大きな問題となっています。県内でも各自治体において廃棄小型家電と小型充電式電池の回収ボックスを設置されているところが多くなりました。令和7年3月に市環境課に要望し、

本市も昨年12月より本庁舎及び瓜連支所、2か所に回収ボックスを設置していただきました。

今後、市全域で利便性を確保するための計画・スケジュールについても踏まえ、市内に設置場所を増やす方針はあるのか伺います。

A 市民生活部長 回収ボックス設置場所の増設は市が管理する施設と調整を進めていきます。



使用済小型家電と小型充電式電池の回収ボックス（市役所1F）

議員のひとこと

ゴミの出し方に注意しましょう。



その他の

# 議会活動レポート



「原子力発電と放射線」をテーマに、原子力安全対策常任委員会主催の勉強会を開催しました。

原子力発電の仕組みやメリット・デメリット、核燃料サイクルの現状、高レベル廃棄物の地層処分における留意点など、将来世代にも深く関わる重要な課題について体系的かつ具体的に説明を受けました。また、東海第二発電所の照射脆化データを基に、原子炉圧力



講師 服部成雄氏  
【東海第二原発地域科学者・技術者の会】

容器の中性子による材料劣化等についても理解を深めました。

質疑では、安全対策の考え方や長期的な管理の在り方など具体的な論点が挙げられ、活発な意見交換が行われました。今回の勉強会で多角的な知見に触れたことで、議員それぞれの理解が一層進み、議会内の議論を深め有意義な機会となりました。

議員勉強会



【1/20 勉強会の様子】

福島県本宮市議会広報広聴委員会の皆さまが、本市議会の広報活動および市民との対話の場づくりについての視察に来訪されました。「議会だより」の編集体制や紙面づくりの工夫、SNSを活用した情報発信の取り組み、「議員と語ろう会」の在り方についてなど、この2年間重点的に進めてきた内容について説明しました。

その後、広報紙のリニューアルに伴うデザイン・レイアウトの作成手法や議員主体で行うSNSの運用方法など具体的な広報活動の質問をいただきました。また、「議員と語ろう会」を継続的に実施するための体制づくりとして、これまでの開催方法や現在の各常任委員会でテーマや相手先を決めて行うことになった経緯など、意見交換は多岐にわたりました。本市議会としてもこれまでのさまざまな取り組みを振り返るとともに、双方の工夫や悩みを率直に共有することで、今後の課題を見つめ直す貴重な機会となりました。

議会広報や市民との対話の取り組みは、なお発展途上にありますが、他市議会から関心を寄せていただいたことは大きな励みとなります。今後も、市民の皆さまに「届く」「伝わる」議会を目指し、さらなる改善と工夫を重ねていきます。



【1/26 視察の様子】

議会運営委員会・議会広報委員会



### —ごみ指定袋について—

ごみ指定袋の記名・無記名の在り方について、市民の声やアンケート結果、執行部からの説明を踏まえ、委員会で協議を重ね、1月27日に市長へ要望書を提出しました。

本市では平成6年から記名制度を導入し、分別の習慣が定着してきましたが、近年はプライバシーへの配慮を求める声も寄せられています。令和8年4月からのプラスチック製容器包装の分別回収を踏まえ、要望書では可燃ごみの記名を任意とし、一定期間試行した上で分別状況やごみステーションの秩序を検証することを求めました。

市民の負担に配慮し、混乱を防ぎながら適正な分別の定着を目指します。



### —市民の安全確保を要望—

東海第二発電所に隣接する本市の立地特性を踏まえ、市民の安全確保を最優先に防災体制の充実について協議を重ね、1月27日に市長へ要望書を提出しました。

本市は一部がP A Z、全域がU P Zに含まれており、原子力災害時には広範な避難対応が求められます。要望では、実効性ある広域避難計画の策定や要支援者への支援体制整備、避難所運営や個別避難計画の充実、避難路整備、緊急情報伝達手段の強化、住民への丁寧な説明と訓練の実施を求めました。あわせて、市民の安全確保を最優先とするよう強く要望しました。



### —持続可能な道の駅運営を要望—

道の駅運営についての課題を整理し、持続可能な発展を図るため、中小企業診断士への検証依頼や視察、委員間討議を重ね、2月25日に市長へ要望書を提出しました。

運営形態や収支計画の妥当性、農業振興との連携、建築デザインの効果、市財政への影響、市民参加の仕組みなどを多角的に分析し、特に第三セクター方式の在り方や集客予測の根拠についてはさらなる精査を求めました。本事業は方向性を明確に示し、市民への周知と理解を深めることが重要です。那珂市全体の発展のため、将来にわたり安定的かつ継続的に機能する持続可能な運営モデルの構築を強く要望しました。

# 議会を傍聴しませんか

自由に見たり、聴いたりできるんです



## 令和8年6月定例会日程（案）

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2 本会議 (開会)	3	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問など)	6
7	8	9	10 総務生活 常任委員会	11 産業建設 常任委員会	12 教育厚生 常任委員会	13
14	15 原子力安全対策 常任委員会	16	17	18 議会運営委員会 全員協議会	19 本会議 (閉会)	20
21	22	23	24	25	26	27

※会議は、原則として午前10時開会です。

### 傍聴方法

- 本会議の受付所 市役所3階傍聴席前
- 各委員会の受付所 市役所2階全員協議会室前
- 受付簿に年代およびお住まいの地域を記入してから入室

### 議会映像視聴方法

- 本会議、臨時会の様子をライブ配信しています。お手持ちのスマートフォンやパソコンで視聴できます。



### 請願・陳情の提出

- 6月定例会での審議を希望される場合には、5月22日(金)午後5時までに議会事務局へ提出してください。

### 那珂市議会公式SNS



## 編集後記

4年の任期の折り返しを迎え、今号は那珂市議会が新たな一歩を踏み出す節目の一冊となりました。表紙に掲げた「Restart」には、これまでの歩みを大切にしながら、さらに開かれた議会へ進んでいく思いを込めています。

これからも、言葉とデザインの両面から工夫を重ね、市民の皆さまにより身近に感じていただける、分かりやすく、手に取るのが少し楽しみになるような議会だよりを目指してまいります。

桑澤 直亨

### 議会広報委員会

委員長 桑澤 直亨  
副委員長 鈴木 明子  
委員 榊原 一和  
委員 渡邊 勝巳  
委員 小池 正夫  
委員 遠藤 実